2.4GHz ワイヤレス日本語キーボード
WKB-RF2019M-MB/-AL

取扱説明書 ver 1.00.00

株式会社リニアスペース
ワイヤレス機器事業部
http://www.WiTek.jp/

はじめに

　このたびはウルトラスリム 2.4GHz ワイヤレス日本語キーボード WKB-RF2019M をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
　このキーボードは 2.4GHz デジタル無線技術を採用しています。
　製品をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

ご注意
「1. 安全のために必ず守ること」は、製品を安全にご使用いただく上で、必ず守っていただくことが記載されています。
必ずお読みになり、必ずお守りください。

本取扱説明書の背表紙は本製品の保証書になっております。
「ご購入日、販売店の店名、住所、電話番号」の記入を確かめ、
本取扱説明書とともに、大切に保管してください。
なお、保証、サポートを受けるにはユーザ登録が必要となります。詳しくは、「2. ご使用の前に」-「ユーザ登録のお願い」をご覧ください。

本取扱説明書の内容は 2009 年 9 月 1 日現在の時点のものです。
最新の内容は弊社 WEB サイト http://www.WiTek.jp/ で
公開しておりますので、そちらもご覧ください。

もくじ

1. 安全のために必ず守ること　（必ずお読みください。）・・・・・・・・ 1
・記号の説明 ・・・・・・・・ 1
・乾電池の危険説明 ・・・・・・・・ 1
・本製品の危険説明 ・・・・・・・・ 2
・本製品の警告説明 ・・・・・・・・ 3
・本製品の注意説明 ・・・・・・・・ 4
2. ご使用の前に ・・・・・・・・ 5
・本体および付属品の確認 ・・・・・・・・ 5
・ユーザ登録のお願い ・・・・・・・・ 5
3. 各部の名称 ・・・・・・・・ 6
・本体 ・・・・・・・・ 6
・レシーバ ・・・・・・・・ 6
・マルチファンクションキーの動作 ・・・・・・・・ 6
4. 接続 ・・・・・・・・ 7
・動作環境 ・・・・・・・・ 7
・電池の取り付け・取り外し ・・・・・・・・ 7
・レシーバの取り付け ・・・・・・・・ 8
・接続チャネルの設定 ・・・・・・・・ 8
5. 使用 ・・・・・・・・ 9
・使用方法 ・・・・・・・・ 9
・使用上の注意 ・・・・・・・・ 9
・お手入れ ・・・・・・・・ 9
・キートップがはずれたら ・・・・・・・・ 10
6. 困った時 ・・・・・・・・ 11
・故障かな？と思ったら ・・・・・・・・ 11
・故障かな？と思ったら（つづき） ・・・・・・・・ 12
・お問い合わせ窓口について ・・・・・・・・ 12
7. 修理と修理・サポート ・・・・・・・・ 13
・ユーザ サポート窓口 ・・・・・・・・ 13
・修理のご依頼について ・・・・・・・・ 13
・有料修理の場合のお見積について ・・・・・・・・ 13
8. 主な仕様 ・・・・・・・・ 14
・動作環境 ・・・・・・・・ 14
・キーボード本体 ・・・・・・・・ 14
・レシーバ ・・・・・・・・ 14
・その他 ・・・・・・・・ 14
・付属品一覧 ・・・・・・・・ 14

保証規定・保証書（背表紙）

1. 安全のために必ず守ること 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■あやまった使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負う恐れが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の侵害が発生する恐れがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(以下は図記号の例です)

してはいけない内容です。（禁止）	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

乾電池の液漏れ

接触禁止

絶対に素手で液をさわらない

・乾電池の液が目に入ったり、身体や衣服に付くと、失明やけが、皮膚の炎症をおこすことがあります。
そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

指示

必ず次の処理をする

・液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

・液が身体や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。

・皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

乾電池の取り扱い

禁止

絶対に乳幼児の手の届く場所に置かない

・飲み込むと窒息したり , 胃や腸などに傷害を起こす恐れが大きく非常に危険です。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

禁止

乾電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水に濡らさない

・破裂したり、液が噴き出したりして、けがややけどを負う恐れが大きく、非常に危険です。
皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠危険

乾電池の取り扱い

指示

＋と－の向きを正しく取り付ける

・ショートして発熱や破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときには乾電池を取り外す

・本製品を使用せず、乾電池を入れたままにしておくと、液が漏れ、接触する金属部分が腐食したり、錆ついたりします。
また、もれた液によりけがややけどの原因となることがあります。
故障の原因となることがあります。

指示

同一メーカかつ同一種類かつ同時期使用のアルカリまたはマンガン乾電池を使用する

・種類の違う乾電池や新しいものと古いものを混ぜて使用すると乾電池の特性や性能の違いにより , 破裂したり、液が漏れて、けがややけどの原因となることがあります。故障の原因となることがあります。

本製品の取り扱い

禁止

絶対に乳幼児などの**手の届く場所に置かない**

・乳幼児などの手に届く場所に置いておくと外したキートップやレシーバ、電池などを誤って口に含んだり、飲み込んだりして、窒息したり口腔や胃などに障害をおこす恐れが大きく、非常に危険です。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

本製品の使用

禁止

指定以外の用途、場所で使用しない

・本製品は日本国内における家庭内かつ屋内での個人的な使用を前提としています。また、微弱とはいえ、電波を発信しているので以下に掲げる設備や機器に影響を与え、重大な損害や被害が発生する可能性があります。

・医療機器など生命を司る装置に影響を与え、重大な損害が発生することがあります。

・原子力設備など社会に重大な影響を与える設備や機器に影響を与え、甚大な被害が発生することがります。

・業務や屋外など、本製品の使用範囲外での使用によって障害または損害が生じたとしても、弊社はいかなる責任も負いかねます。
また、一切の補償、あるいは補修も致しかねます。
予めご了承ください。

⚠警告

本製品の取り扱い

禁止

人に向かって投げつけない

・本製品が破損したり、人に当たると、死亡や重傷を負うことがあります。

禁止

物に向かって投げつけない

・本製品が破損したり、物に当たると、破損することがあります。

禁止

打ち付けたり、ひねったりしない

・本製品が砕け散り、破片が目や皮膚に刺さったりする恐れがあり、非常に危険です。
また、飲み込むと窒息したり、口腔や胃などに障害を起こす恐れが大きく、非常に危険です。
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

本製品の使用

禁止

長時間使用しない

・肩や腕、手首が痛くなったり、筋が張ったりすることがあります。
体の一部に不快感や痛みを感じたら , すぐに本製品の使用を中断し、休息をとるようにしてください。
万一、休息しても症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

禁止

他の機器に電波による影響を与える場所で使用しない

・心臓ペースメーカーなど医療用電気機器・設備の近くで使用すると機器の誤動作などの原因となることがあります。
・医療機関内で使用すると設置されている医療用電気機器・設備に誤動作などの原因となることがあります。
・航空機内で使用すると、誤動作による事故の原因となることがあります。
・他の機器の故障や誤動作の原因となることがあります。
・他機器からの影響を受け、故障の原因となることがあります。
・電波障害を引き起こし、誤動作による事故や損害を引き起こすことがあります。

⚠注意

本製品の使用

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所で使用しない
・故障の原因となることがあります。

分解禁止

分解や改造をしない
・故障の原因となります。
・法に抵触し、罰せられることがあります。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を入れない
・水や油など液体が本製品の中に入ると故障の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手でさわらない
・水や油など液体が本製品の中に入ると故障の原因となります。

禁止

不安定な場所で使用しない
・操作を誤ったり、落ちてけがをしたり、破損することがあります。
・故障の原因となることがあります。

禁止

落とさない
・落とすとけがをしたり、破損することがあります。
・故障の原因となることがあります。

2. ご使用の前に

本体および付属品をご確認ください。
万一不足していたり損傷しているものがありましたら、
販売店または弊社までご連絡ください。

☐ キーボード本体	・・・・・・・・・・・・・・	1 台
☐ USB ミニレシーバ	・・・・・・・・	1 本
☑ 取扱説明書兼保証書（ 本書 ）	・・・・・・・・	1 冊
☐ 動作確認用単四乾電池	・・・・・・・・	2 本

ユーザ登録のお願い

製品のサポートを受けるにはユーザ登録をしていただく必要があります。
弊社 WiTek ウェブサイト
http://www.WiTek.jp/user/regist/
にアクセスし、ユーザ登録を行ってください。

ユーザ登録を行っていただくと次のようなメリットがあります。
1. 無料保証期間中の無料修理
2. ご購入製品のユーザサポート
3. バージョンアップなどの製品サポートのご案内
4. 新製品のご案内やキャンペーンのお知らせ

最新情報は弊社 WEB サイト
http://www.WiTek.jp/products/
にアクセス

・最新ＯＳの対応などの製品情報
・ドライバやソフトウェアの更新などサポート情報
・ドライバや弊社製ソフトウェアのダウンロード
・よくある質問 (Q & A)・不明な点・お問い合わせ

など、随時更新しています。

3. 各部の名称

15 マルチメディアファンクションキーの名称と押下時の動作

	ホーム	デフォルトのインターネットブラウザで指定されたホームページに戻ります。
	メール	デフォルトのeメールソフトウェアを起動します。
	お気に入り	インターネットエクスプローラのお気に入りペインを開きます。
	戻る	前のページに戻ります。
	進む	次のページに進みます。
	停止	現在読み込み中または更新中のコンテンツの表示を停止します。
	再生 / ポーズ	マルチメディアプレイヤの再生または一時停止を切り替えます。
	前のトラック	ひとつ前のメディアトラックに移動します。
	次のトラック	ひとつ先のメディアトラックに移動します。
+	ボリューム 大	サウンドの音量を大きくします。
−	ボリューム 小	サウンドの音量を小さくします。
	ミュート	サウンドの出力を一時停止します。
	コンピュータ	ウィンドウズエクスプローラを起動します。
	電卓	ウィンドウズ付属の電卓を起動します。
	スタンバイ	システムをスタンバイモードに移行させ、省電力状態にします。

4. 接続

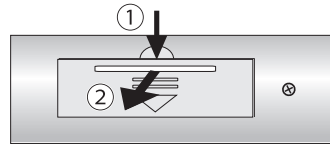
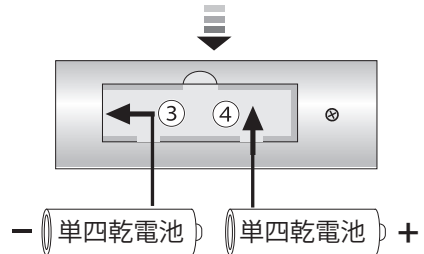
・動作環境

ハードウェア
USB 1.1 以上の接続端子を有する、IBM 互換 (DOS/V) パーソナルコンピュータ (以後、P C)

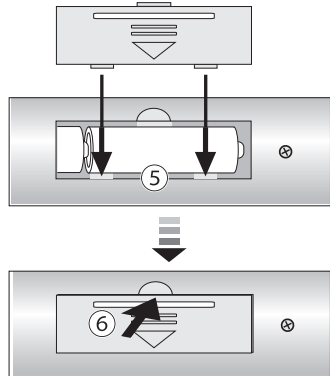
オペレーティングシステム (以後、O S)
Microsoft® Windows® XP / Vista / 7 全エディション 32 ビット版 (x86) 、64 ビット版 (x64)

ソフトウェア
特別なソフトウェアは必要ありません。Microsoft® Windows® 付属の標準ドライバが
接続時に自動的にインストールされます。

・電池の取り付け・取り外し

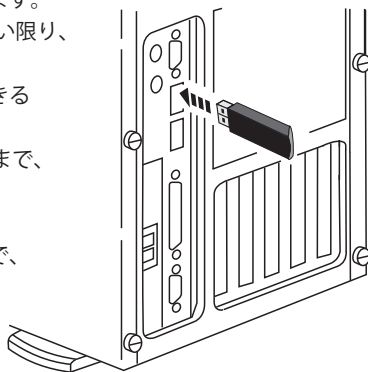
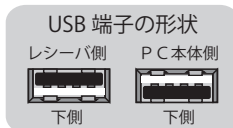
1. バッテリルームの外蓋を取り外す
   ① 親指の爪をオープンガイドの凹みに当て、
   そのまま外蓋のロックを、爪で軽く押しながら、
   ② キーボード本体から離すように上にあげると、
   簡単に取り外せます。

2. 乾電池を取り付ける
   ③ 最初の乾電池を、方向を間違えないように
   溝に入れ、左のほうに押し込みます。
   ④ 次の乾電池を右側に取り付けます。

   ※同一種類および同一メーカの乾電池を、
   使用してください。
   アルカリとマンガンなど異なる種類の
   組み合わせて使用すると発熱や液もれなど
   けがややけど、故障の原因となります。

3. 外蓋を取り付ける
   ⑤ 外蓋の下部の２個の爪をバッテリルームの
   ガイドに合わせます。

   ⑥ 外蓋の上部をバッテリルームに、軽く
   押し当てると、「カチッ」という音がして
   固定されます。

・レシーバの取り付け

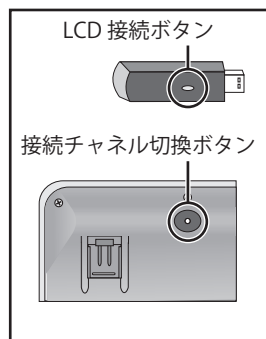
1.ＰＣを起動します。Windows® が正常に動作していることを確認します。
2.ＰＣの USB 端子とレシーバの USB 端子の上下を間違えないように
　ＰＣの USB ポートにレシーバを取り付けます。
　※取り付けるときにレシーバを無理にゆすったりしないよう
　　気を付けてください。端子が破損し、故障の原因となります。
3. レシーバのチャネル接続ボタンが点灯していることを確認します。
4. しばらくするとＰＣのプラグ & プレイ機能により、
　自動接続が開始されますので、認識されるまで待ちます。
　一旦認識されると、接続する USB ポートを変更しない限り、
　自動的に認識されます。
※通常は以上の操作でワイヤレスキーボードが使用できる
　ようになります。
※ご使用のＰＣによっては Windows® が起動完了するまで、
　ワイヤレスキーボードが機能しないことがあります。
　これは、搭載された USB チップや BIOS の、
　機能・性能によるハードウェアの制限・制約ですので、
　予めご了承ください。BIOS 設定で USB キーボードを
　有効にすることができる機種では、
　USB キーボードを有効にしてみてください。

USB 端子の形状

レシーバ側	ＰＣ本体側
下側	下側

・接続チャネルの設定

同じ 2.4GHz 帯域を使用する機器が近くにあると、機器同士で干渉しあい、誤動作を
引き起こしたり、動作がぎこちなくなることがあります。
この場合、干渉しない場所に移動して使用するか、使用を中止するか、または以下の方法で
接続チャネルを変更します。

1. ＰＣを起動します。Windows® が正常に動作していることを
　確認します。
2. レシーバを USB ポートに正しく取り付けます。
3. レシーバの LCD 接続ボタンが点灯していることを確認します。
4. LCD 接続ボタンを一度押します。
　LCD 接続ボタンがゆっくり点滅を繰り返します。
5. 点滅している間に、適切な乾電池が装着された、キーボード
　裏側下部の接続ボタンを押します。
6. キーボードがレシーバとの接続チャネル設定に成功すると、
　LCD 接続ボタンが数秒間素早く点滅し識別を完了します。
　その後、再び点灯した状態に戻ります。

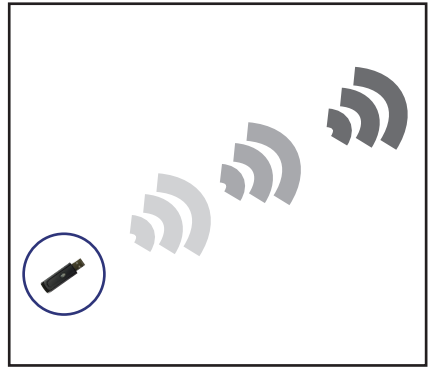
※キーボードを認識しない場合、一度レシーバを抜き去り、キーボードの乾電池を取り外し、
　キーボードに乾電池を取り付けてから、再度レシーバを装着します。
　その後、必要に応じて、3. から 5. までを順次実行します。
　また、同機種のキーボードを、複数台使用する場合は、必ず、１台ずつ、
　別々に接続チャネル識別を実行してください。
　同時に行うと、干渉しあい、正しく識別できません。

5. 使用

・使用方法

・「4. 準備」の設定を正しく行うとキーボードを使用することができます。

・従来の 27MHz 帯域におけるワイヤレス通信は遮蔽物に弱く、受信距離も最大約 1.5m なので、レシーバと本体の間が遮られない環境が必要でした。
・ 本製品は、2.4GHz周波数帯域を使用しているので、最大10mの広い受信範囲(*1)があり、遮蔽物に強く、例えば、木製のドア越しからでも通信が可能です。(*2)

(*1)金属製の机や他の電子機器などの影響で、
受信範囲は大きく異なってきます。

(*2)遮蔽物の材料、その他の環境によって
大きく異なります。

・使用上の注意

本製品が正常に動作しないときは、下記の環境で使用するようにしてください。
・コンピュータやディスプレイなどの電子機器から 20cm 以上離す。
・キーボードにより近い位置にレシーバを設置する。

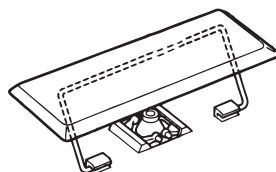
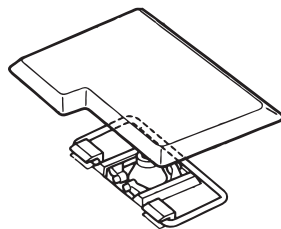
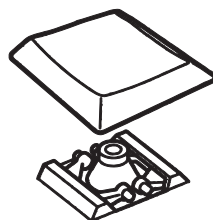
使用・保管場所について
・湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり、保管しないでください。
・三日以上使用しない場合は、乾電池を取り外してください。

操作について
・本機は水平で安定した場所に設置し、ご使用ください。
・急激な温度変化は避けてください。
寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。
内部に結露が生じている場合かあります。

・お手入れ

表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
※ご注意
・お手入れするときは、必ず乾電池を取り出してください。
・本製品を掃除するときは、必ずコンピュータからレシーバを取りはずしてください。
・濡れたもので本製品を拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
・アルコールやシンナーなど揮発性のものは表面の仕上げを傷め、変形や故障の原因となりますので使わないでください。
・化学ぞうきんを使うときはその注意書に従ってください。

・キートップがはずれたら

・「Enter」キーと「Shift」キー、「スペース」キー
がはずれてしまったときは、
① キートップから針金のバネを取りはずし、
② 突起部にひっかけ、
③ キートップの中心を合わせ、
「カチッ」と音がするまで上から押し込みます。

・その他のキートップがはずれたときは、
元の位置に戻し、「カチッ」と音がするまで、
上から押し込んでください。

※キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
※取り付けるときに無理に力を加えると、破損の原因となります。
取り扱いには充分ご注意ください。
※キートップが破損したり、本体が破損した場合、交換、修理は致しかねますので
ご了承ください。
うまく取り付けられないときは、無理をせず、弊社修理窓口にご相談ください。
有料にて修理致します。

6. 困ったとき

・故障かな？と思ったら (Q & A)

キーボードが使えない

・レシーバが USB コネクタに正しく差し込まれているか確認してください。
　コンピュータ本体の USB コネクタに直接差し込んでください。
　接続端子が複数あるハブを経由しての接続はしないでください。

・「4. 接続・乾電池の取り付け (p.7)」を参照し乾電池が正しく入っているか確認してください。
　乾電池の方向を間違えたり、向き合うように取り付けると、キーボード本体の故障や破損、
　乾電池の液もれや発熱、破裂などにより、けがややけどなどの原因となります。
　乾電池が取り付けられていなかった場合は、一度 USB コネクタからレシーバを取り外し、
　「4. 接続・乾電池の取り付け (p.7)」を参照し、十分に電力のある乾電池を、方向を
　間違えないようにして正しく取り付けます。
　次にレシーバをコンピュータ本体の USB コネクタに直接取り付けます。

・乾電池に十分な電力が残っているか確認してください。
　電力が低い場合は、「4. 接続・乾電池の取り付け (p.7)」を参照し、乾電池を新しいものに
　交換してください。

・接続チャネルが正しく認識できていない可能性があります。
　「4. 接続・接続チャネルの設定 (p.8)」を参照して、認識させてください。

・レシーバとキーボードの距離を確認してください。
　本製品の接続可能距離は、最大約１０mです。
　レシーバとキーボードの距離は使用範囲の距離内でご使用ください。
　金属製の机の上など、キーボードの近くに金属があると、電波の到達距離が短くなる場合
　があります。

・キーボードとレシーバの間、またその近くに、テレビ受信機や電子レンジなど、電波障害を
　引き起こすようなものがないか確認してください。
　電波障害を引き起こさない場所でご使用ください。

・キーボードとレシーバの間、またその近くに、ワイヤレスマウスや無線 LAN、Bluetooth
　など、同じ 2.4GHz 周波数帯域を使用した通信機器がないか確認してください。
　2.4GHz 周波数帯域を使用した通信機器が近くにあると、電波干渉を引き起こし、通信
　できなかったり、通信が途切れたりします。
　この場合、接続するチャネルを変更することで回避できることがあります。
　「4. 接続・接続チャネルの設定 (p.8)」を参照して、接続チャネルを切り換えてください。
　また、他の通信機器の接続チャネルを変更することで回避できることもあります。
　詳しくはお使いの通信機器の取扱説明書をご覧ください。

・故障かな？と思ったら (つづき)

キーボードが使えない (つづき)
・レシーバを接続してキーボードが使えるようになるまで時間がかかる
　Windows® またはその他のソフトウェアや他のＵＳＢ機器で処理を行っているときに
　レシーバをＰＣに接続すると、レシーバの認識に時間がかかることがあります。

・省電力動作モードから復帰後、キーボードが動かない
　レシーバをＵＳＢコネクタから取り外し、数秒待ってから取り付け直してください。

キー入力ができたりできなかったりする
・周囲に、ワイヤレスマウスや無線 LAN、Bluetooth など、同じ 2.4GHz 周波数帯域を使用
　した通信機器がないか確認してください。
　2.4GHz 周波数帯域を使用した通信機器が近くにあると、電波干渉を引き起こし、
　通信できなかったり、通信が途切れたりします。
　この場合、接続するチャネルを変更することで回避できることがあります。
　「4. 接続・接続チャネルの設定 (p.8)」を参照して、接続チャネルを切り換えてください。
　また、他の通信機器の接続チャネルを変更することで回避できることもあります。
　詳しくはお使いの通信機器の取扱説明書をご覧ください。

キートップがはずれてしまった
　「5. 使用・キートップがはずれたら (p.10)」を参照して取り付けてください。
　うまく取り付けられないときは、無理をせず、弊社修理窓口にご相談ください。
　有料にて修理致します。

・お問合わせ先について

「故障かな？と思ったら」を読んでも問題が解決しない場合は、
弊社 WEB サイト
　http://www.WiTek.jp/support/wkb-rf2019m/faq/
の最新情報をご覧ください。

どうしても解決しない場合は弊社サポートにお問い合わせください。
お問い合わせは、弊社 WEB サイト
　http://www.WiTek.jp/support/wkb-rf2019m/inquiry/
から問い合わせフォームにてお問い合わせください。

7. 保証と修理・サポート

・ユーザ サポート窓口

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

・型名：WKB-RF2019M-MB(黒) または WKB-RF2019M-AL(アルミニウム)

・製造番号 (S/N)：キーボード底面シールに記載されている、11 桁の数字。

・ご購入年月日：

・故障の状態：できるだけ詳しく

・修理について

弊社では本製品の修理は基本的にお客さまからの持ち込みによる修理をお受けしております。
弊社修理窓口に持ち込みいただくか、または弊社指定の運送便にて配送いただいております。
修理完了後は弊社修理窓口にて引渡し、または、ご希望により運送便にての配送となります。
なお、配送費用はお客様のご負担となりますので予めご了承願います。

・修理のご依頼方法

1. 保証、修理を受けるには、ユーザ登録が必要となりますので、弊社 WEB サイトにアクセスし、「メニュ」-「新規ユーザ登録」のページを開き、ご登録ください。
2. ログイン後「メニュ」-「修理依頼」をクリックし、修理依頼シートにもれなくご記入のうえ送信してください。
3. ユーザ登録で登録したメールアドレスに、修理受付番号、修理保証の可否、修理方法、修理品の配送場所や方法、料金を記載した「修理受付完了のご案内」が送られます。
4. 保証書 (本書の背表紙) の記入欄に以下の項目が記入または記載されていることをご確認ください。

・ご購入日、ご購入の販売店の住所、店名、電話番号が明記されているかまたはそれらの項目がすべて記載されたシールが張り付けてあることをご確認ください。

・修理受付完了メールに記載された修理受付番号をご記入ください。

・キーボード本体の裏側のシールに記載されたシリアル番号 "S / N : ###########"(11 桁) を正確にご記入ください。

5. ご購入日が記入された、ご購入の販売店のレシートまたはレシートのコピーをご用意ください。
6. 前項 (5.) でご用意いただいた、販売店のレシートまたはそのコピーとともに、キーボード本体、レシーバ、本取扱説明書を本製品のパッケージに入れ、弊社修理窓口にお持ちいただくか、緩衝材でくるみ、運送時の衝撃に十分耐えられるようにして、弊社指定の宅急便にてご送付ください。
   弊社指定の宅急便会社については、「修理受付完了のご案内」に記載されています。

※ 保証、及び修理のご依頼方法は予告なく変更となる場合があります。
最新の情報は、弊社 WEB サイト「メニュ」-「製品について」-「保証規定」をご覧ください。

・有料修理の場合のお見積について

修理料金は技術料、部品代などで構成されています。

・技術料は、診断、故障個所の修理及び部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

・部品代は、修理に使用した部品及び補助材料代です。

・運送費は、修理した商品の配送を希望された場合に発生する、輸送費及び梱包機材などの荷造り運賃です。

8. 主な仕様

・動作環境

ハードウェア

USB 1.1 以上の接続端子を有する、IBM 互換 (DOS/V) パーソナルコンピュータ

ＯＳ

Microsoft® Windows® XP / Vista / 7 全エディション 32 ビット版 (x86)、64 ビット版 (x64)

・主な仕様

キーボード仕様

キーレイアウト	日本語106キー準拠フルレイアウト
キー数	109キー＋15 キー
キーピッチ	19mm
キーストローク	3.0 ± 0.5mm
キー構造	薄型メンブレン式
動作力	50 ± 10g
サイズ	幅 455 x 高さ 172 x 厚み 12-27mm
重量	870g(乾電池含まず)
色	(MB)マットブラック / (AL)アルミニウム
電源・電圧	ＤＣ３Ｖ 単四型アルカリ / マンガン乾電池2本使用

ワイヤレス仕様

ワイヤレス方式	RF 2.4GHz 48チャネル 65536ID(自動)
通信距離	最大10m (電波障害など環境によって異なります)
消費電流	使用時 10mA スリープ時 0.2mA
電池寿命	一日約8時間通常使用で約三カ月(アルカリ電池) *1
レシーバコネクタ	USB 1.1 準拠 (2.0 も接続可) A コネクタタイプ

その他

動作温度・湿度	5℃～35℃ / 20%～80%(結露のないこと) 但し35℃時は65%以下
保管温度・湿度	-20℃～60℃ / 10%～90%(結露のないこと) 但し60℃時は20%以下

付属品

キーボード本体
USBワイヤレスレシーバ
取扱説明書兼保証書
動作確認用単4乾電池 x 2

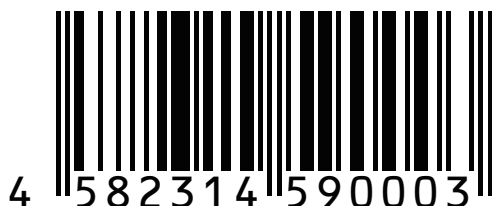
(*1) 使用条件により大きく異なります。
電池寿命を保証するものではありません。

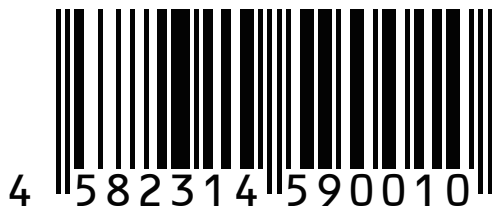
仕様および外観は、改良のため予告なく
変更することがあります。ご了承ください。

MADE IN CHINA.

2.4GHz ワイヤレス日本語キーボード
WKB-RF2019M-MB/-AL

取扱説明書 ver 1.00.00

品名 2.4GHzワイヤレスキーボード

品番 WKB-RF2019M-MB (黒)

品番 WKB-RF2019M-AL(アルミニウム)

株式会社リニアスペース
〒176-0022 東京都練馬区向山3-4-6
TEL: 03-5987-5990
www.WiTek.jp

保証規定

1. 保証期間内に正常な使用状態 (取扱説明書の「1. 安全のため必ず守ること」および「5. 使用」に従った使用状態) で故障した場合には、弊社にて無料修理致します。
2. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
(1) 本書のご提示がない場合、または本体底面のシールが剥がれているかその痕跡がある場合
(2) 本書にお買上げの年月日、お客様氏名、およびお買上げの販売店名の記入がない場合、本書の字句を書き替えられた場合
(3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障・損傷
(4) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障・損傷
(5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷
(6) 一般家庭用以外（例えば業務用) での使用による故障・損傷
(7) 付属品などの消耗または破損による交換
(8) 修理品の配送に伴う費用
(9) 本製品（外箱、キーボード本体、レシーバ、乾電池）の一部でも欠落している場合
3. この保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

弊社の故意または重大な過失以外の場合に本製品の使用により発生した損害等の補修または補償は、本製品のご購入価格を限度とさせていただきますのでご了承ください。

ソフトウェア、データベースの消去、破損、他機器に与えた損害等の補修または補償は一切致しかねますのでご了承ください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するもので、この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて詳しくは取扱説明書をご覧ください。ご不明の場合は、弊社にお問合せください。

保証書

保証期間	ご購入日から６ヶ月	ご購入日	年　月　日
品　名	2.4GHz ワイヤレスキーボード	品　番	WKB - RF2019M - MB
シリアル No.		修理番号	
お名前	様	電　話	－　－
ご住所	〒　－　都道府県からご記入ください。集合住宅の場合、建物名、部屋番号もご記入ください。		

販売店 (店名・住所・電話)